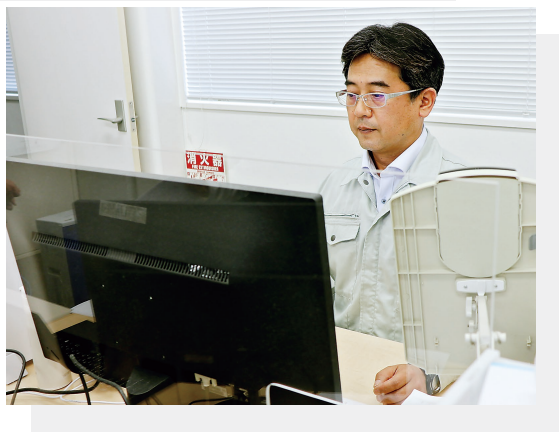




## 宇野浩二さん（四国電気工業株式会社）

地元大手化学プラントから任せられたゾーンの電気および計装設備の保全（メンテナンス）業務のグループリーダーとして従事している。保全とは、当たり前に見える状態を維持すること。宇野さんは監督者として保全計画を立て、点検や補修など、グループ内の部下や協力会社を指揮している。

四国電気工業は人材育成に力を入れていて、宇野さん自身も資格を多く取得している。社内で教育体系が確立されており、業務内容に応じた教育計画が一人一人に立てられる。会社から資格取得に向けたバックアップも厚く、教育計画以外にも自主的に学ぼうとする意欲が高い人も多い。また、インターンシップも受け入れており、近年では現場を体験してもらい、その経験がきっかけとなって雇用につながった。人を大事に育てていこうとするのが結果としてあらわれた。



新居浜ものづくりマイスターを紹介

産業振興課 ☎ 65-1260

# 未来へつなぐ名工の技

市のものづくり産業を支える卓越した技能や技術を持った人を「新居浜ものづくりマイスター」に認定しています。今回は令和4年度に認定された2人を紹介します。令和5年度ものづくりマイスター候補者の推薦を11月30日(休)まで、募集しています。詳細はHPをご確認ください。



HPはこちら

## 近藤喜大さん（有限会社アイエム工機）

アイエム工機は、建設機械や半導体の部品などの製造・加工を行っており、多品種少量で精度が要求される製品が多い。一度受けた仕事は「できない」と言わないのが会社のスタンス。試行錯誤するが、やりがいがあると近藤さんは話す。

そんな近藤さんだが、機械加工の仕事が向いていないと、一度この道を離れた。しかし他の業種を経験し、17年前に戻ってきた。“できることなら一番上を”と思い、機械加工技能士特級を取得。加工方法やアプローチの仕方など、新たな捉え方ができるようになった。

社内では最年少の近藤さん。若い人にも入ってもらいたいが、少子化・人手不足も重なり、なかなか集まらない。もっとこの業界について若い人に興味を持ってもらうために、ものづくりの魅力を伝えたいと目を輝かせる。

